

拡大版

防犯・防災クイズ

岡防災課(☎5723-8700、FAX5723-8725)

クイズに答えて、楽しみながら
防災の知識を身につけよう。

地震編



目指せ!防災マスター

Q1 右の対策後は、地震に備えた8つの防災対策をしています。対策前と後を比べて見つけてみましょう

対策前



対策後



Q2 大きな揺れの後、自宅に火災などの危険があるとき、最初に避難するのは？

- ①地域避難所 ②広域避難場所

Q4 動けない人を運ぶための応急担架として活用できるのは？

- ①ダンボール ②毛布

Q3 エレベーターに乗っているとき、大地震が起きました。正しい行動はどっち？

- ①すべての階のボタンを押す ②1階を押す

Q5 地震発生時、区内の防災行政無線からの地震情報は、推定震度いくつ以上で放送される？

- ①震度4 ②震度5弱

A

クイズの答え



12問 / 全問正解

→防災マスター 11~7問正解→上級者 6~4問正解→中級者

何問できたかな？

A1



① ガラス飛散防止フィルム

窓ガラスに貼るだけで、破片が飛び散りにくくなります。

② 防災カーテン

防災カーテンにすると、火災時に燃え広がりにくくなります。

③ 転倒防止器具の取り付け

L字金具や突っ張り棒、家具の下に敷くタイプなど、さまざまな種類があります。

④ タンスの配置

万がータンスが倒れた場合、出入り口をふさがらないような配置にしましょう。

⑤ すべり止めの設置

揺れで移動してしまわないよう、家具の脚や家電の下に付けるすべり止めがあります。

⑥ 非常用持ち出し袋

就寝時でもすぐに避難できるよう、枕元に準備しておくことをおすすめします。

⑦ スリッパ(靴)

素足での避難はけがなどの恐れがあるため、枕元に履物があると役立ちます。

⑧ 扉ロック

棚の扉は、揺れで開いて中の物が飛び出ないようにロックしておくとお心です。



防災行動マニュアル
(コード①)

①

25~26ページを参考に、家の内外の安全チェックをしてみましょう。

防災用品をアッセン
しています
(コード②)

②



A2

①地域避難所

発災後、最初に避難するのは地域避難所です。ただし、地域避難所周辺で火災や建物の倒壊など危険がある場合は、広域避難場所へ。日頃から近くの避難所までのルートを防災マップ(コード③)で確認しておきましょう。



A3

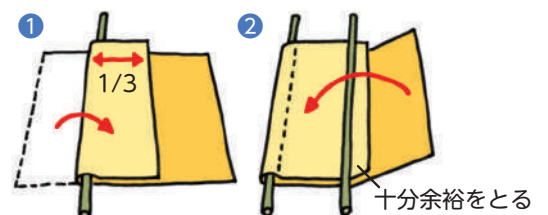
①すべての階のボタンを押す

発災時はエレベーターに閉じ込められる恐れがあるため、すべての階のボタンを押し、最初に扉が開いた階で直ちに降りましょう。

A4

②毛布

長めの棒と毛布で、簡単に担架を作ることができます。



A5

②震度5弱

防災行政無線から地震情報が放送されるのは、区で震度5弱以上と推定された場合です。また、防災行政無線は避難情報や災害情報も放送します。

24時間以内の放送は、電話(☎0180-993-333)で確認できます(17時の定時放送を除く)。